

## 第2部 造形講演会 【15:00~16:00】

### 演題

# 『図画工作科・美術科における 個別最適な学びと協働的な学びを考える』

「主体的・対話的で深い学び」をよりいっそう推し進めるために、「個別最適な学び」「協働的な学び」をいかに取り入れ、子どもたちの可能性を引き出していくか、ご講演いただきます。ぜひご参加ください。

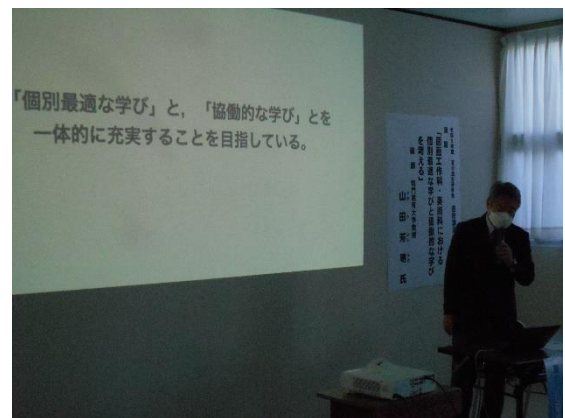


### 【講師プロフィール】

## 鳴門教育大学 教授 山田 芳明 先生

美術科教育学会 大学美術教育学会 日本教材学会に所属

教育学は現場から生まれるという観点から、教育現場(小学校図画工作)の実践から出発し、とくに授業に着目した美術教育論の構築に取り組まれています。



### 《参加者の感想》（一部抜粋）

- 個別最適な学びなど、教育に必要な理念を再確認できてとてもよかった。
- 個別化、協働的、ICTの有効的な活用、想定を広げることが大切であることが分かった。
- 一人一人に応じた学習はやりたいけれど、目が届きにくくなっている現状がある。こまめに一人一人に対応できる工夫をしていきたい。
- 図工の「学び」について改めて考えることができた。子どもとつくりあげる授業にしたい。
- 次の活動をどんどんしたくなる学習活動の流れを考えたいと思った。
- 見通しのある授業や子どもたちどうしの交流を考えていきたいと思った。
- サザエさんとペーターの話はとても分かりやすかった。協働的な学びを意識していきたい。
- 授業イメージ、指導案は再考してみたいと思った。山田教授の実践例や考え方が知れました。それを基に2学期の教育に活かしていきたい。
- 学習履歴を残すことについて大変勉強になった。
- 授業をつくる中で何を意識していくとよいか、とてもよく分かった。